

新任看護部長あいさつ



いつもお世話になっております。

平成27年4月より看護部長に就任しました櫻井郁子と申します。新規採用で静岡県立こども病院に就職し、30年以上小児看護に携わってきました。かわいいこども達に囲まれ、こども達にパワーをもらい、こども達の笑顔に癒され、そしてやりがいを感じる事の出来る職場です。私は、こども達と関わる中で『こども達が一日でも早くご家族のもとに帰ることができるように看護師として何が出来るか』と常に考え、看護を実践することを大切にしてきました。大変な治療をしているこども達と関わったり、がんばっ

ていたお子さんがなくなった時にはつらいと感じることもありますが、元気に家に帰っていく姿を見たり、初回の外来受診時に病棟を訪問してくれた場面に立ち会うと小児看護の看護師を選んで本当に良かったと思います。

当院の看護部は、「こどもの生命と権利を尊重し、家族とともに、こどもの心身の健康と成長・発達を支援する」という理念の下に全ての看護職員が、こども達が安心して治療を受けることが出来る環境を整えられるように努力しています。当院には、医療的ケアをしながら在宅に移行するお子さんも多いため、一日でも早くこども達がご家族のもとに帰ることが出来るよう、地域との連携を深めていくことが大変重要であり、そのために、当院の看護をご理解いただけるよう情報を共有していきたいと考えております。

今後ともご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

news

救急医療功労者として厚生労働大臣表彰を受けました



表彰式に出席した瀬戸院長

平成27年9月9日(水)厚生労働省にて、救急医療功労者厚生労働大臣表彰を受けました。厚生労働省は救急医療対策の一層の充実強化に資することを目的に、例年、救急医療に関する功績が顕著な団体(個人)の大臣表彰を実施しています。今回、当院の取り組みが評価され、表彰されることとなりました。



診療科
紹介

耳鼻いんこう科

科長 橋本 亜矢子



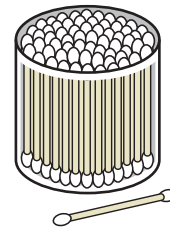
(経歴)

平成15年 大分大学医学部卒

平成15年～浜松医科大学 耳鼻咽喉科入局

焼津市立病院、清水厚生病院、富士宮市立病院などで勤務してきました。

そして、平成27年4月より静岡県立こども病院にて勤務しています。



お世話になります。今年度から常勤になりました、橋本亜矢子と申します。耳鼻いんこう科が常勤になったことで、いままで対応できなかった入院の必要な患者さんや手術の必要な患者さんも当院で診療が可能となりました。

(他科との協力)

当院の唇顎口蓋裂診療班では県下の唇顎口蓋裂児の多くを治療・管理しています。耳鼻いんこう科が常勤になるに当たり、耳鼻いんこう科も唇顎口蓋裂班に入り、出生直後からだいたい16歳までの唇顎口蓋裂児の診療をしています。週に1度のカンファレンスを通して、形成外科、歯科、言語聴覚士、それぞれ専門の立場から意見を出し合って診療に当たっています。また、口蓋裂児に高頻度に認められる滲出性中耳炎とそれによる聴力低下、鼓膜の異常などについても診療しています。当院では日帰りで全身麻酔下鼓膜チュービングが可能です。(合併症のある患児については日帰りが困難な場合もあります。) 口蓋裂外来(毎週月曜)

いびき・睡眠時無呼吸

小児の睡眠時無呼吸症候群(SAS)は、成人とは違った病態を示し、

- ・肥満、代謝への影響
- ・心血管系への影響
- ・成長への影響(身体発育、顎顔面発育、胸郭変形など)
- ・神経認知機能の発達への影響(不注意、多動、衝動性、問題行動など)
- ・夜尿

など、成長にかかわる多彩な影響が明らかとなってきています。

SASは中枢性無呼吸(キアリ奇形などによる)と閉塞性無呼吸(扁桃肥大、アデノイド増殖症、鼻炎、副鼻腔炎、舌根沈下、小さい下顎などによる)に大きく分かれていますが、小児の閉塞性無呼吸症候群における治療の第1選択はアデノイド切除術、口蓋扁桃摘出術であり、その効果は75%~100%とされています。当科では安全で出血の少ない手術を目指し、3歳未満の小児についてはコブレーターによるアデノイド切除を行っています。(口蓋扁桃摘出は従来通りのデバイスで摘出しています。)

コブレーターは高周波バイポーラで、60℃~70℃の低温で組織を蒸散させるため、術中の出血が少なく、術後の痛みが少ないのが特徴です。また、必要症例では、術後ICUでの管理をお願いしています。

当科で扱う主な疾患

- ① 中耳炎(滲出性、慢性、急性)
- ② いびき、睡眠時無呼吸
- ③ 難聴の診断
- ④ 喉頭軟化症の診断
- ⑤ 小児副鼻腔炎、鼻炎
- ⑥ 頸部腫瘍、腫脹 etc...

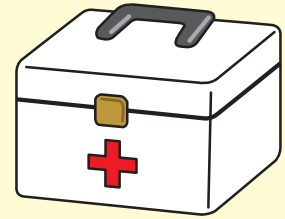
地域医療連携Q&A

地域医療支援病院である当院は、日頃から、地域の開業医や保健機関等から多くの様々な医療相談を受け付けています。このコーナーでは、そうした相談の中から、よくある質問と回答を紹介いたします。

頭のゆがみについて

【質問】

頭の形について左右の違い、いわゆる「絶壁」頭、ゆがんでいる気がする場合どうしたら良いでしょうか？



【回答】

頭の形のゆがみには病的なものと病的でないものがあります。頭蓋骨は一つの骨でなく、いくつかの骨が合わさってできています。骨と骨の間は頭蓋骨縫合で結ばれているのですが、この縫合が癒合することで頭蓋骨が成長できなくなって頭の形がゆがんでくることがあります。これは頭蓋骨縫合癒合症という病気で、X線撮影で頭を調べるとわかります。病的でない頭の形のゆがみはいわゆる向き癖が原因であることがほとんどで、いくつかの工夫で改善することができます。また、頭蓋骨形状誘導ヘルメットを用いることで大きく改善できる場合があります。病的なものも病的でないものも早く受診していただくほど改善が期待できます。1ヶ月健診、4ヶ月健診で頭の形が気になるようであればお気軽にご相談ください。

(脳神経外科 石崎 竜司、北川 雅史)

先天性内反足について

【質問】

先天性内反足の患者さんはどのようなタイミングで紹介すればよいですか？



【回答】

・赤ちゃんが産婦人科を退院し、病院に連れてくるのが可能な時点で来院して頂きたいです。
先天性内反足は男児に多く、1000出生に1足程度の発症率で小児整形外科では珍しくない疾患です。両側例もあります。先天性内反足の原因は足根骨という足の骨の配列異常です。ですから自然に良くなることはありません。
先天性内反足の治療はギプスによる矯正が基本です。ギプスによる矯正はまだ組織の柔軟性の高い新生児期に開始した方がうまくいきやすいです。生後1か月を過ぎると体格も大きくなり、下肢の力も強くなるため矯正がしにくくなります。もちろん体が成長してからでも矯正は可能ですが、ご家族・赤ちゃんにとっても矯正は早く始めた方が矯正の回数や負担は少なく済むことが多いです。ただし、他に先天性の疾患や、治療が必要な病気があればそちらを優先して、全身の状態が落ち着いてから来院して頂ければそれからでも治療は可能です。内反足に似た先天性内転足という病態もありこちらは自然に軽快することもあります。判断に迷われた際は当院へ御相談下さい。

(整形外科 松岡 夏子)

ファシリテイドッグ 新しいハンドラーが着任しました!!

ファシリテイドッグの「ヨギ」と一緒に活動する新しいハンドラーの着任式を10月13日(火)に行いました。



インタビューを受ける
鈴木さん

○新任ハンドラー 鈴木 恵子さん

看護師として、東京都内の病院と大手電機メーカーにて、計30年間勤務し、今年からファシリテイドッグ・ハンドラーとして、当院での活動を開始しました。着任式では、「ヨギが築いてきた子どもたちとの絆を大切に、より発展させていきたい。」と語りました。



着任式会場にて、左から、平野副看護部長、瀬戸院長、鈴木ハンドラー、ヨギ

ファシリテイドッグとは?

ファシリテイドッグとは、専門的なトレーニングを受け、看護師経験のあるハンドラーとともに、入院患者の不安やストレスを軽減する活動を行う犬のことです。

様々な施設を訪問するセラピードッグとは異なり、特定の施設(ファシリティ)に常勤で働いていることが特徴です。



認定NPO法人
シャイン・オン!キッズ
ホームページ: <http://sokids.org/ja/>



■ 講演会・セミナーのおしらせ

○ SK胃瘦セミナー

※平成27年1月22日(金) 13:30～ 場所:静岡県立こども病院 大会議室

「胃瘦からの食事—ぼくもわたしもみんなと同じものが食べたいな!—」 神経科・小児外科・栄養管理室

○ NST学術講演会

※平成28年1月29日(金) 18:00～ 場所:静岡県立こども病院 大会議室

「微量栄養素の基礎と臨床」 筑波大学附属病院 小児外科 教授 増本幸二

● 読者からの投稿を受け付けています ●

小児医療や当院に関する意見、質問をお寄せください。住所、氏名、年齢、電話番号を明記、あて先は、〒420-8660 静岡県立こども病院医療サービス課「ひろば読者投稿」係(FAX:054-247-6259、MAIL:kodomo-keiei@shizuoka-pho.jp)。原則として200字以内でお願いします。